

令和6年度
定期監査報告書
(令和5年度分企業会計)

阿蘇市監査委員

目 次

企 業 会 計

第1 監査の概要	1
1 監査の対象	1
2 監査の期間	1
3 実施した監査手続	1
第2 監査の結果	1
【病院事業】	
阿蘇医療センター	2
【水道事業】	
上下水道課	11
【講評・所感】	15

(注 記)

- 1 本書中の数値は、単位未満四捨五入しているが、調整のため切り上げ又は切り捨てしている場合もある。
- 2 単位未満四捨五入のため、計及び合計が一致しない場合がある。
- 3 「0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものまたは、当該数値のない場合も含まれる。
- 4 「-」は、当該数値がない場合である。
- 5 「△」または「-」は数値のマイナスを表す。
- 6 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整している。

(関係条文)

・地方自治法第199条第1項

監査委員は、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査する。

・地方自治法第199条第4項

監査委員は、毎会計年度少なくとも1回以上期日を定めて第1項の規定による監査をしなければならない。

・地方自治法第199条第9項

監査委員は、監査の結果に関する報告を決定し、これを普通地方公共団体の議会及び長並びに関係ある教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会その他法律に基づく委員会または委員に提出し、かつ、これを公表しなければならない。

定期監査報告書

第1 監査の概要

1 監査の対象

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの公営企業阿蘇市病院事業及び水道事業における事務及び予算の執行、財産の管理の状況について、地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき監査を実施した。

2 監査の期間

令和6年6月7日から令和6年6月24日までの間

3 実施した監査手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行について、提出された資料並びに提示のあった関係書類及び会計書類及び会計帳簿等に基づいて、証憑突合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、質問を行うとともに、必要と認めたその他の監査手続を実施した。

第2 監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して、おおむね適正に執行されているものと認められた。

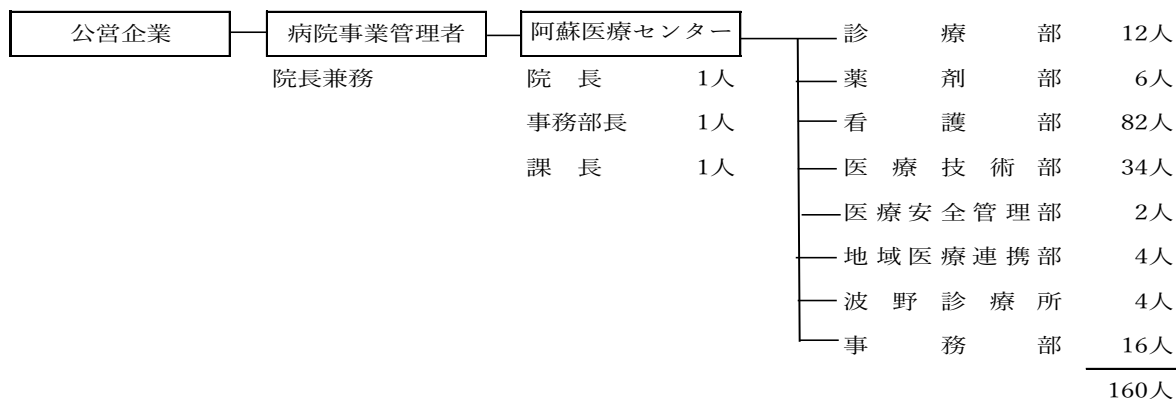
講評・所感においては、改善検討を望むとした事項を記述したが、事務処理における軽易な事項については、その都度、関係職員に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。

今後とも事務処理に十分留意し、検討善処されたい。

【阿蘇医療センター】

(1) 職員構成

令和6年3月31日現在



職種別	定員	令和4年度末 現員	令和5年度末現員				
			実績	内波野診療所	前年度増減	定員との比較	
正職員	医師（波野診療所含）	15	11	12	1	1	△3
	薬剤師	6	6	6		0	0
	看護師（波野診療所含）	86	82	86	1	4	0
	准看護師	2	2	2	1	0	0
	社会福祉士	3	3	4		1	1
	診療放射線技師	7	7	7		0	0
	臨床検査技師	7	7	7		0	0
	臨床工学技士	4	4	4		0	0
	理学療法士	9	9	9		0	0
	作業療法士	4	4	4		0	0
	管理栄養士	2	2	2		0	0
	言語療法士	1	1	1		0	0
	ボイラー技士	2	2	2		0	0
	事務職員（波野診療所含）	22	14	14	1	0	△8
計	170	154	160	4	6	△10	
会計年度任用職員	非常勤医師（波野診療所含）	—	30	32	2	2	—
	薬剤師	—	1	1		0	—
	看護師	—	9	8		△1	—
	准看護師	—	2	1		△1	—
	臨床検査技師	—	0	0		0	—
	リハビリ助手	—	1	1		0	—
	職員（波野診療所含）	—	8	11	1	3	—
	管理栄養士	—	1	2		1	—
委託関係	歯科衛生士（波野診療所含）	—	2	2	2	0	—
	医療事務	—	22	22		0	—
	看護補助等職員	—	17	18		1	—
	給食調理業務	—	14	16		2	—
	院内清掃業務	—	8	8		0	—
	患者送迎等用務業務	—	1	1		0	—
	宿日直警備職員	—	5	5		0	—
	SPD業務	—	3	3		0	—
売店業務	—	3	3		0	—	
院内保育園業務	—	3	3		0	—	
計		130	137	5	7		
合計		284	297	9	13		

(2) 病院のあらまし

名 称：阿蘇医療センター

所 在 地：阿蘇市黒川 1266 番地

開設年月日：昭和 25 年 5 月 15 日

開院年月日：平成 26 年 8 月 6 日

敷地面積：26,335 m²

延床面積：11,230 m²（建築面積 6,064 m²）

病 棟 （免震構造、鉄筋コンクリート 4 階建）

外来棟 （耐震構造、鉄筋コンクリート建）

中央診療棟（免震構造、鉄筋コンクリート 2 階建）

院内保育・病児病後児保育所：92.16 m²（木造平屋建）（令和 4 年 4 月 1 日開所）

医 師 住 宅：603 m²（RC 造陸屋根、2 階建、3 棟、間取り 3LDK）

(3) 事務事業の概要

① 令和 5 年度の主な事務事業

1. 感染症等の医療への対応について

第 2 種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症における「帰国者・接触者（発熱）外来」を令和 2 年度から継続して設置し、新型コロナウイルス感染症疑似症患者の診察（検査含む）及びトリアージを実施（令和 2 年 4 月から本年 3 月まで延べ 10,264 人（令和 5 年度 2,412 人））するとともに、新型コロナワクチン接種を小児から全世代対応（令和 3 年 3 月から本年 3 月まで延べ 9,931 人（令和 5 年度 1,950 人））し、新型コロナウイルス感染症陽性患者等（疑似症患者含む）の入院治療による受入（令和 2 年 4 月から本年 3 月まで延べ 301 人（令和 5 年度 112 人））を実施した。

新型コロナウイルス感染症については感染症法の位置づけが 5 類に引き下げられたものの、ウイルスの感染力は従前と変わらず、残念ながら院内でも入院患者様や従業員に感染が広がり、5 度の院内感染が発生しており、病棟での面会制限等感染症対策は現在も継続中である。

2. 収益増収への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症への対応で、第 2 種感染症指定医療機関として陽性患者の受け入れのための医療提供体制の整備を進め、病床確保を行い、令和 2 年から 4 階病棟を閉鎖し 84 床での運用を図り、国の運営費補助金等の活用により、入院制限における収益の減収分を補ってきたが、5 類感染症への移行に伴い国の補助も極端に減額され、コロナ禍以前の病床稼働には戻り切れていない状況が続いている。医業収益の確保のため、病床稼働率の向上を図るべく医師をはじめ多職種による院内チームを構成し、今後の対策協議を進めている。

また、令和 6 年 6 月からの診療報酬改定に合わせて、入院費の DPC 包括算定方式への移行に向け、DPC 準備病院として収益確保の取り組みを進めるとともに、阿蘇圏域の医療機関や介護福祉施設等の方々に参集いただいで地域連携の会の開催や、菊池圏域、熊本・上益

城圏域の病院訪問による医療センターの各診療科の情報共有を図り、紹介率・逆紹介率をあげる取り組みを進め、患者の増加を図っている。

更に、国の進める地域医療構想の実現に向け、阿蘇構想区域として令和5年9月8日に小国公立病院とともに、「国の重点支援区域」に選定。阿蘇医療センターは救急・急性期機能を中心として、回復期や在宅医療もカバーすることが出来る「阿蘇圏域の基幹病院」としての役割を担うため、現在の病床数124床を維持し、小国公立病院は回復期機能を中心とし、救急・急性期・慢性期・在宅医療・介護もカバーすることが出来る「地域密着型多機能病院」としての役割を担い、病床数を73床から65床に減床していくこととし、診療・経営データ分析や施設・設備整備にあたっての支援を受けられるよう取り組みを進めている。

診療体制は、令和5年4月から、脳神経外科医師1名の常勤医を増員するとともに、令和4年4月に開設した皮膚科外来では診療日を週1日から週2日に増日した。医師をはじめ医療従事者の確保については、医師招聘活動を継続するとともに、初期・後期研修医（医科／歯科）、研修生（特定行為看護師／救急救命士）、医学部実習生、養成施設実習生（看護師／薬剤師／検査技師／リハビリ療法士／栄養士）の受け入れを積極的に進めている。研修医・実習生等の受け入れは、後年の当院への就職の動機にもなっており、人材確保に資するうえで継続して若手医療人の育成、教育機能の充実に取り組んでいる。

令和6年には熊本大学病院との連携による招聘活動、熊本県の医師修学資金貸与医師（地域枠）制度、地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座の支援等により、「糖尿病・代謝・内分泌内科」「脳神経内科」「腎臓内科」「呼吸器内科」「泌尿器科」の常勤医師の確保につながっている。

診療単価については前年比入院単価：105.2%と増額、外来単価：98.7%と前年並みを維持しており、本来の稼働に戻った時には収益増収の見込みとなっている。

3. 病院の利用状況について

外来診療日数年間243日で、①延べ外来患者数55,537人（前年度比7,656人減）、一日平均228.5人（波野診療所は、内科2,554人・1日平均14.0人、歯科776人・1日平均8.5人）、②延べ入院患者数20,727人（前年比1,193人増）、病床稼働率（4月まで4階病棟閉鎖）47.2%（前年度比4.8%増）と、外来患者数は減少（コロナ発熱外来患者の減少が主要因）し、入院患者数は増加したもののコロナ禍以前の状況までは戻り切れていない。

診療単価では入院が39,759円（前年度比1,164円減）、外来が12,726円（前年度比1,256円増）となり、入院診療単価はほぼ前年並み、外来診療単価は毎年増額となっている。

(診療科目)

当年度	前年度
阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科 呼吸器内科 婦人科 皮膚科	阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科 呼吸器内科 婦人科 皮膚科
波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科	波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科

※診療科目変更なし

(病床数)

区分	病棟	当年度	前年度
病床数	一般	120床	120床
	療養	0床	0床
	感染症	4床	4床
病床利用率（感染症病床を除く）		47.2%	42.4%

② 事務実績の状況

病院事業の業務実績は〔表1〕のとおりで、阿蘇医療センターは、令和5年度入院患者数 20,727人（1日平均 56.6人）、前年度 19,534人（1日平均 53.5人）、外来患者数では 55,537人（1日平均 228.5人）、前年度 63,193人（1日平均 260.1人）と、前年度と比較すると入院患者数で1,193人（6.1%）の増、外来患者数で7,656人（12.1%）の減であった。

波野診療所は、医科の患者数 2,554人（1日平均 14.0人）、前年度 2,423人（1日平均 13.0人）、歯科では 776人（1日平均 8.5人）、前年度が 685人（1日平均 7.8人）と、前年度と比較すると医科で 131人（5.4%）の増、歯科で 91人（13.3%）の増であった。

（表1）患者数の推移

（単位：人）

区 分	当年度		前年度		比較	
	人数	1日平均	人数	1日平均	増減	比率(%)
阿蘇医療センター						
入院患者数	20,727	56.6	19,534	53.5	1,193	6.1
外来患者数	55,537	228.5	63,193	260.1	△ 7,656	△ 12.1
波野診療所						
外来患者数（医科）	2,554	14.0	2,423	13.0	131	5.4
外来患者数（歯科）	776	8.5	685	7.8	91	13.3
合 計	79,594		85,835		△ 6,241	△ 7.3

（表2-1）科別入院患者（阿蘇医療センター）

（単位：人）

区分	入 院												計
	内科	外科	整形外科	小児科	脳神経 外科	皮膚科	循環器科	脳神経 内科	消化器 内科	消化器 外科	糖尿病・ 代謝・内 分泌内科	歯科口腔 外科	
4月	641	0	338	1	221	0	182	0	0	156	0	26	1,565
5月	802	0	345	0	269	1	141	0	1	128	2	34	1,723
6月	711	0	275	3	239	0	142	0	0	173	0	31	1,574
7月	772	0	264	3	303	0	86	0	1	220	2	6	1,657
8月	1,003	0	159	1	342	0	118	0	0	150	5	35	1,813
9月	834	0	158	0	231	0	144	0	0	153	0	27	1,547
10月	770	0	198	2	229	0	118	0	0	163	2	18	1,500
11月	752	0	360	2	293	0	142	0	0	166	0	6	1,721
12月	829	0	469	15	308	0	123	0	0	165	3	22	1,934
1月	912	0	531	15	258	0	231	0	0	170	0	11	2,128
2月	866	0	534	2	255	0	224	0	0	101	0	15	1,997
3月	693	0	322	1	277	0	172	0	0	84	2	17	1,568
合計	9,585	0	3,953	45	3,225	1	1,823	0	2	1,829	16	248	20,727
1日平均	26.2	0.0	10.8	0.1	8.8	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.7	56.6
診療日数													366

(表 2-2) 科別外来患者 (阿蘇医療センター)

(単位:人)

区分	外 来																			
	内科	整形外科	小児科	循環器内科	脳神経内科	脳神経外科	消化器外科	リウマチ膠原病科	乳腺内分泌科	糖尿病・代謝・内分泌内科	血液内科	腫瘍内科	消化器内科	歯科口腔外科	耳鼻咽喉科	腎臓内科	呼吸器内科	婦人科	皮膚科	計
4月	1,236	546	274	314	87	653	91	51	33	227	14	1	126	123	73	36	78	19	309	4,291
5月	1,452	728	514	329	85	638	166	61	46	177	9	2	85	109	78	22	70	18	323	4,912
6月	1,414	662	506	431	93	623	97	54	37	272	11	1	97	103	90	43	86	14	434	5,068
7月	1,301	618	498	322	76	699	150	61	38	214	13	2	100	108	73	30	85	12	404	4,804
8月	1,362	661	526	326	92	680	131	55	40	229	10	2	94	76	69	22	77	6	487	4,945
9月	1,253	519	350	354	82	399	124	49	46	242	17	2	116	86	55	35	93	20	395	4,237
10月	1,412	543	410	396	83	814	111	61	55	251	12	2	153	92	80	34	84	18	369	4,980
11月	1,162	618	391	406	99	679	248	54	46	209	14	2	68	94	81	27	76	19	400	4,693
12月	1,353	587	392	338	85	590	96	0	57	231	12	2	117	82	69	28	74	19	348	4,480
1月	1,396	457	308	340	81	539	107	83	41	227	15	4	113	85	62	36	76	16	322	4,308
2月	1,218	610	328	292	83	588	82	54	30	230	14	2	123	89	108	28	65	12	385	4,341
3月	1,196	627	351	307	77	581	97	51	47	281	15	4	129	133	72	49	97	18	346	4,478
合計	15,755	7,176	4,848	4,155	1,023	7,483	1,500	634	516	2,790	156	26	1,321	1,180	910	390	961	191	4,522	55,537
1日平均診療日数	64.8	37.6	20.0	17.2	21.3	39.8	11.2	52.8	21.5	29.1	13.0	1.2	9.9	8.7	19.4	9.1	10.0	8.3	46.1	228.5
	243	191	243	241	48	188	134	12	24	96	12	21	134	136	47	43	96	23	98	

(表 3) 経営の状況

(単位:円:%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
総収益	2,980,183,061	2,730,616,463	2,376,564,632
(うち医業収益)	1,581,700,373	1,638,155,005	1,638,012,103
総費用	2,467,842,843	2,655,725,584	2,756,075,895
当年度純損益	512,340,218	74,890,879	△ 379,511,263
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—
当年度未処理欠損金	△ 1,524,541,552	△ 1,449,650,673	△ 1,829,161,936
単年度利益比率	32.4	4.6	△ 23.2
利益剰余金比率	△ 96.4	△ 88.5	△ 111.7
総収支比率	120.8	102.8	86.2

(4) 収益的収入及び支出 (令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

事業収益は、予算現額 3,022,464,000 円に対し、決算額 2,385,211,342 円で、執行率 78.9%となる。事業費用は、予算現額 3,022,464,000 円に対し、決算額 2,663,426,900 円で、不用額は 359,037,100 円となっている。

収 入 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額			決算額	予算額に比べて 決算額の増減	執行率	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正予算額	計				
第1款 病院事業収益	2,943,812,000	78,652,000	3,022,464,000	2,385,211,342	△ 637,252,658	78.9	8,646,710
第1項 医業収益	2,348,329,000	0	2,348,329,000	1,645,643,742	△ 702,685,258	70.1	7,631,639
第2項 医業外収益	595,433,000	78,652,000	674,085,000	739,439,967	65,354,967	109.7	1,015,071
第3項 特別利益	50,000	0	50,000	127,633	77,633	255.3	0

支 出 (消費税込)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額					決算額	地方公営 企業法第 26条第2項 の規定に よる 繰越額	不用額	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補 正 予算額	予備費 支出額	地方公営企 業法第26条 第2項の規 定による 繰越額	計				
第1款 病院事業費用	2,943,812,000	78,652,000	0	0	3,022,464,000	2,663,426,900	0	359,037,100	74,504,932
第1項 医業費用	2,878,987,000	78,652,000	2,595,552	0	2,960,234,552	2,604,689,197	0	355,545,355	74,504,932
第2項 医業外費用	52,626,000	0	0	0	52,626,000	50,845,103	0	1,780,897	0
第3項 特別損失	5,500,000	0	2,392,600	0	7,892,600	7,892,600	0	0	0
第4項 予備費	6,699,000	0	△ 4,988,152	0	1,710,848	0	0	1,710,848	0

※医業外費用の決算額と損益計算書の医業外費用の差額 92,648,995 円は、仮払消費税(雑支出)によるものである。

(5) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 167,116,000 円に対し、決算額 151,630,000 円で執行率 90.7%となる。資本的支出は、予算現額 334,731,000 円に対し、決算額 309,802,389 円で、不用額は 24,928,611 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 158,172,389 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

収 入（消費税込）

（単位：円）

区 分	予 算 現 額				決 算 額	執 行 率	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考 (仮受消費税)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	合 計				
第 1 款 資本的収入	167,116,000	0	0	167,116,000	151,630,000	90.7	△ 15,486,000	0
第1項 企業債	75,800,000	0	0	75,800,000	58,500,000	77.2	△ 17,300,000	0
第2項 他会計負担金	87,203,000	0	0	87,203,000	87,203,000	100.0	0	0
第3項 補助金	4,113,000	0	0	4,113,000	5,927,000	144.1	1,814,000	0

支 出（消費税込み）

（単位：円）

区 分	予 算 現 額				決 算 額	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	繰越費 通次 繰越額	不 用 額	備 考 (仮払消費税)
	当 初 予 算 額	補 正・予 備 費	繰越費通次繰越額	合 計					
第1款 資本的支出	333,651,000	0	1,080,000	334,731,000	309,802,389	0	0	24,928,611	6,602,958
第1項 建設改良費	96,480,000	0	1,080,000	97,560,000	72,632,541	0	0	24,927,459	6,602,958
第2項 企業債償還金	174,407,000	0	0	174,407,000	174,406,812	0	0	188	0
第3項 他会計借入金償還金	62,764,000	0	0	62,764,000	62,763,036	0	0	964	0

(6) 企業債償還状況

（単位：円）

項目	本年度借入高	前年度末残高	本年度償還高	本年度末残高	備 考
企業債	58,500,000	3,105,797,730	174,406,812	2,989,890,918	

(7) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、以下の比較損益計算書のとおり、総収入 2,376,564,632 円に対し、総支出 2,756,075,895 円で 379,511,263 円が当年度純損益となっている。

収 入（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業収益	1,581,700,373	1,638,155,005	1,638,012,103	△ 142,902	0.0
①入院収益	845,920,551	805,622,388	832,610,663	26,988,275	3.3
②外来収益	650,582,389	752,594,086	728,052,346	△ 24,541,740	△ 3.3
③その他医業収益	85,197,433	79,938,531	77,349,094	△ 2,589,437	△ 3.2
2 医業外収益	1,392,365,304	1,089,402,427	738,424,896	△ 350,977,531	△ 32.2
①受取利息配当金	6,316	10,726	10,781	55	0.5
②他会計負担金	380,982,000	422,710,000	415,055,000	△ 7,655,000	△ 1.8
③補助金	907,719,860	523,521,860	166,199,420	△ 357,322,440	△ 68.3
④長期前受金戻入	92,419,785	131,443,777	143,325,011	11,881,234	9.0
⑤その他医業外収益	11,237,343	11,716,064	13,834,684	2,118,620	18.1
3 特別利益	6,117,384	3,059,031	127,633	△ 2,931,398	△ 95.8
①過年度損益修正益	6,117,384	3,059,031	127,633	△ 2,931,398	△ 95.8
②その他特別利益	0	0	0	0	—
合 計	2,980,183,061	2,730,616,463	2,376,564,632	△ 354,051,831	△ 13.0

支 出（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	令和3年度	令和4年度(A)	令和5年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業費用	2,323,403,196	2,510,569,336	2,604,689,197	94,119,861	3.7
① 給与費	1,375,057,842	1,424,927,550	1,434,797,002	9,869,452	0.7
② 材料費	282,513,438	326,658,970	371,050,022	44,391,052	13.6
③ 経費	504,785,474	550,770,320	577,107,505	26,337,185	4.8
④ 減価償却費	158,664,442	205,056,497	217,390,539	12,334,042	6.0
⑤ 資産減耗費	0	0	0	0	—
⑥ 研究研修費	2,382,000	3,155,999	4,344,129	1,188,130	37.6
2 医業外費用	144,211,728	144,390,376	143,494,098	△ 896,278	△ 0.6
① 支払利息及び 企業債取扱諸費	38,328,725	37,189,509	35,894,822	△ 1,294,687	△ 3.5
② 消費税	7,814,800	6,312,600	5,294,600	△ 1,018,000	△ 16.1
③ 雑支出	88,412,522	91,232,586	92,648,995	1,416,409	1.6
④ 雑損失	0	0	0	0	—
⑤ 繰延勘定償却	9,655,681	9,655,681	9,655,681	0	0.0
3 特別損失	227,919	765,872	7,892,600	7,126,728	930.5
① 過年度損益修正損	227,919	765,872	7,892,600	7,126,728	930.5
② その他特別損失	0	0	0	0	—
合 計	2,467,842,843	2,655,725,584	2,756,075,895	100,350,311	3.8

当年度純利益	512,340,218	74,890,879	△ 379,511,263	△ 454,402,142	△ 606.8
--------	-------------	------------	---------------	---------------	---------

【上下水道課】

(1) 職員構成 (水道事業)

課長 1人	— 課長補佐 1人	—	水道管理係	— 係長 1人	主任 1人	会計年度任用職員 1人
			水道工務係	— 係長 1人	参事 1人	会計年度任用職員 2人
			内牧水道分室 (内牧支所)	—————	参事 2人	会計年度任用職員 3人
			波野水道分室 (波野支所)	—————	参事 1人	会計年度任用職員 2人
	企業出納員 1人					

水道施設の新設、更新及び維持管理、使用水量の認定、検針、水道料金出納等の事務を本庁、各支所分室の職員 18 人（会計年度任用職員を含む）で執行しており、その事務事業はおおむね適正に執行されているものと認めた。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益は、予算現額 495,468,000 円に対し、決算額 500,847,511 円で、執行率 101.1%となる。また、事業費用については、予算現額 487,398,000 円に対し、決算額 443,636,042 円で執行率 91.0%となっている。

収益的収入 (消費税込み)

(単位：円：%)

区 分	予 算 額			決 算 額	執 行 率	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正額	合 計			
第1款 上水道事業収益	483,415,000	4,400,000	487,815,000	491,262,557	100.7	37,719,172
第1項 営業収益	425,520,000	4,400,000	429,920,000	433,114,660	100.7	37,187,683
第2項 営業外収益	57,895,000	0	57,895,000	58,147,897	100.4	531,489
第2款 簡易水道事業収益	7,653,000	0	7,653,000	9,584,954	125.2	576,028
第1項 営業収益	2,140,000	0	2,140,000	3,722,740	174.0	337,920
第2項 営業外収益	5,513,000	0	5,513,000	5,862,214	106.3	238,108
合 計	491,068,000	4,400,000	495,468,000	500,847,511	101.1	38,295,200

収益的支出 (消費税込み)

(単位：円：%)

区 分	予 算 額					決 算 額	執 行 率	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正額	予備費	流用額	合 計			
第1款 上水道事業費用	461,856,000	422,000	4,351,451	0	466,629,451	428,946,216	91.9	10,149,769
第1項 営業費用	424,636,000	422,000	0	0	425,058,000	393,099,205	92.5	10,137,201
第2項 営業外費用	37,020,000	0	0	0	37,020,000	31,295,560	84.5	0
第3項 特別損失	200,000	0	4,351,451	0	4,551,451	4,551,451	100.0	12,568
第2款 簡易水道事業費用	19,920,000	200,000	0	0	20,120,000	14,689,826	73.0	707,770
第1項 営業費用	18,220,000	200,000	0	0	18,420,000	14,127,908	76.7	707,770
第2項 営業外費用	1,650,000	0	0	0	1,650,000	561,918	34.1	0
第3項 特別損失	50,000	0	0	0	50,000	0	0.0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	△ 4,351,451	0	648,549	0	0.0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	△ 4,351,451	0	648,549	0	0.0	0
合 計	486,776,000	622,000	0	0	487,398,000	443,636,042	91.0	10,857,539

(3) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 236,296,000 円に対し、決算額 202,228,000 円で、執行率 85.6%となる。資本的支出は、予算現額 423,320,000 円に対し、決算額 380,199,861 円で執行率 89.8%である。不用額は 43,120,139 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 177,971,861 円は、当年度消費税資本的収支調整額 19,563,766 円、及び当年度損益勘定留保資金 136,508,209 円、減債積立金 21,899,886 円で補てんされている。

資本的収入（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 現 額			決算額	執行率	備考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正額	合計			
第1款 上水道事業 資本的収入	232,675,000	0	232,675,000	198,541,000	85.3	696,000
第1項 企業債	200,000,000	0	200,000,000	166,600,000	83.3	0
第3項 他会計補助金	24,285,000	0	24,285,000	24,285,000	100.0	0
第4項 工事負担金	3,000,000	0	3,000,000	0	0.0	0
第5項 加入金	5,390,000	0	5,390,000	7,656,000	142.0	696,000
第2款 簡易水道事業 資本的収入	3,621,000	0	3,621,000	3,687,000	101.8	20,000
第2項 加入金	154,000	0	154,000	220,000	142.9	20,000
第3項 他会計補助金	3,467,000	0	3,467,000	3,467,000	100.0	0
合 計	236,296,000	0	236,296,000	202,228,000	85.6	716,000

資本的支出（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 額				決算額	執行率	備考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正予算額	繰越額	合計			
第1款 上水道事業 資本的支出	396,790,000	9,500,000	0	406,290,000	375,456,263	92.4	20,279,766
第1項 建設改良費	244,650,000	9,500,000	0	254,150,000	223,429,468	87.9	20,279,766
第2項 企業債償還金	152,140,000	0	0	152,140,000	152,026,795	99.9	0
第2款 簡易水道事業 資本的支出	12,030,000	0	0	12,030,000	4,743,598	39.4	0
第1項 建設改良費	7,230,000	0	0	7,230,000	9,800	0.1	0
第2項 企業債償還金	4,800,000	0	0	4,800,000	4,733,798	98.6	0
第3款 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0
合 計	413,820,000	9,500,000	0	423,320,000	380,199,861	89.8	20,279,766

(4) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入 462,552,311 円に対し、総支出 424,829,238 円で 37,723,073 円が当年度純利益となっている。

比較損益計算書（消費税抜き）

（単位：円：％）

収 入

	令和 5 年度(A)		令和 4 年度(B)		増減額 (C)	増減率 C/B×100
	金額	構成比	金額	構成比	(A)-(B) 金額	
1 営業収益	399,311,797	86.3	401,045,693	85.1	△ 1,733,896	△ 0.4
①給水収益	373,083,945	80.6	375,052,478	79.6	△ 1,968,533	△ 0.5
②その他の営業収益	26,227,852	5.7	25,993,215	5.5	234,637	0.9
2 営業外収益	63,240,514	13.7	69,876,657	14.9	△ 6,636,143	△ 9.5
①受取利息及び 配当金	75,996	0.0	75,048	0.0	948	1.3
②他会計補助金	4,558,000	1.0	5,063,000	1.1	△ 505,000	△ 10.0
③長期前受金戻入	50,894,403	11.0	51,266,348	10.9	△ 371,945	△ 0.7
④雑収益	7,712,115	1.7	13,472,261	2.9	△ 5,760,146	△ 42.8
収入合計	462,552,311	100.0	470,922,350	100.0	△ 8,370,039	△ 1.8

支 出

	令和 5 年度(A)		令和 4 年度(B)		増減額 (C)	増減率 C/B×100
	金額	構成比	金額	構成比	(A)-(B) 金額	
1 営業費用	396,382,142	93.3	415,281,302	94.1	△ 18,899,160	△ 4.6
①原水及び浄水費	46,085,842	10.9	55,350,205	12.6	△ 9,264,363	△ 16.7
②配水及び給水費	39,486,444	9.3	46,159,753	10.5	△ 6,673,309	△ 14.5
③総係費	123,407,244	29.0	126,923,665	28.7	△ 3,516,421	△ 2.8
④減価償却費	187,363,612	44.1	185,814,589	42.1	1,549,023	0.8
⑤資産減耗費	39,000	0.0	1,033,090	0.2	△ 994,090	△ 96.2
2 営業外費用	23,908,213	5.6	26,228,617	5.9	△ 2,320,404	△ 8.8
①支払利息及び 企業債取扱諸費	21,682,558	5.1	23,622,075	5.3	△ 1,939,517	△ 8.2
②雑支出	2,225,655	0.5	2,606,542	0.6	△ 380,887	△ 14.6
3 特別損失	4,538,883	1.1	29,835	0.0	4,509,048	15,113.3
①過年度損益修正損	4,538,883	1.1	29,835	0.0	4,509,048	15,113.3
支出合計	424,829,238	100.0	441,539,754	100.0	△ 16,710,516	△ 3.8

当年度純利益	37,723,073		29,382,596		8,340,477	28.4
--------	------------	--	------------	--	-----------	------

【 収入未済額調 】

(単位：円：%)

	調定年度	調定額		収納額		不納欠損額		収納率	未納額	
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額(円)	(%)	件数	金額 (円)
過 年 度	平成12年度	3	20,494	0	0	0	0	0.0	3	20,494
	平成13年度	13	90,860	0	0	0	0	0.0	13	90,860
	平成14年度	22	169,580	0	0	0	0	0.0	22	169,580
	平成15年度	12	75,600	0	0	0	0	0.0	12	75,600
	平成16年度	16	104,162	0	0	0	0	0.0	16	104,162
	平成17年度	42	239,893	0	0	0	0	0.0	42	239,893
	平成18年度	46	225,869	10	30,779	0	0	13.6	36	195,090
	平成19年度	39	195,878	8	33,230	0	0	17.0	31	162,648
	平成20年度	26	1,813,330	1	6,762	0	0	0.4	25	1,806,568
	平成21年度	26	2,395,054	8	30,237	0	0	1.3	18	2,364,817
	平成22年度	38	2,198,509	0	0	0	0	0.0	38	2,198,509
	平成23年度	22	790,998	4	12,730	0	0	1.6	18	778,268
	平成24年度	2	8,846	0	0	0	0	0.0	2	8,846
	平成25年度	74	229,925	0	0	0	0	0.0	74	229,925
	平成26年度	86	204,289	8	12,540	0	0	6.1	78	191,749
	平成27年度	170	722,784	11	69,527	0	0	9.6	159	653,257
	平成28年度	160	978,034	7	26,407	0	0	2.7	153	951,627
	平成29年度	99	593,666	13	25,734	0	0	4.3	86	567,932
	平成30年度	114	924,128	10	40,972	0	0	4.4	104	883,156
	令和元年度	180	474,541	25	67,122	0	0	14.1	155	407,419
令和2年度	207	814,605	49	171,420	0	0	21.0	158	643,185	
令和3年度	440	1,469,677	152	413,293	0	0	28.1	288	1,056,384	
令和4年度	12,268	39,726,424	11,887	38,042,690	0	0	95.8	381	1,683,734	
過年度計		14,105	54,467,146	12,193	38,983,443	0	0	71.6	2,108	15,483,703
現年度計		120,506	410,375,783	108,264	370,514,901	0	0	90.3	12,464	39,860,882
合 計		134,611	464,842,929	120,457	409,498,344	0	0	88.1	14,572	55,344,585

※ 令和6年3月末現在では、3月分の水道料金は未納となっている。

※ 収納件数については、内金（一部）納付されたものもあり、必ずしも差し引いた未納額の件数にはならない。

【講評・所感】

《阿蘇医療センター》

令和5年度の決算は、総収益 2,376,565 千円に対し総費用 2,756,076 千円となり、前期と比較して減収となったことに加え、令和元年度以来の純損益（379,511 千円）を計上した。

損益の要因としては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による対策等補助金の減少（前年比 357,322 千円減）に加え、本業の経費増（医業費用 前年比 94,120 千円増）により、当期比較損益は前年比 454,402 千円減少となった。これにより、繰越欠損金は令和4年度 1,449,651 千円から今期 1,829,162 千円となり、前年比 379,511 千円の増となった。

今後、病床稼働率の向上をはじめ経営安定対策による収益増収への取り組みが急務と思われる。

業務面では、公文書綴は表題部にNo.とタイトルが集約されており、良く整理されている。なお、起案文書等において押印漏れが複数件あった。

《上下水道課》水道事業

令和5年度の決算は、総収益 462,553 千円に対し、総費用 424,830 千円、純利益 37,723 千円を計上し、前期比減収となったものの費用も減少したことで増益となった。

給水については、配水量・給水量ともに前年度から減少したが、有収率は 74.7%で、前期比 0.4%増加しているが引き続き漏水面の対応が必要と思われる。

業務面では、一般文書綴は表題部にNo.とタイトルが集約されており、良く整理されている。工事請負契約書の契約内容文面中に請負者欄が空欄のものが複数件あった。収入未済額については費用対効果を検討し、債権放棄も検討するべきだと思われる。